

第195回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成28年2月期 —

〔調査方法〕

会員企業185社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【仕入単価】【従業員】【資金繰り】【資金借入難易度】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3カ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【仕入単価】…「下落」-「上昇」
【従業員】…「不足」-「過剰」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

〔調査対象業種〕

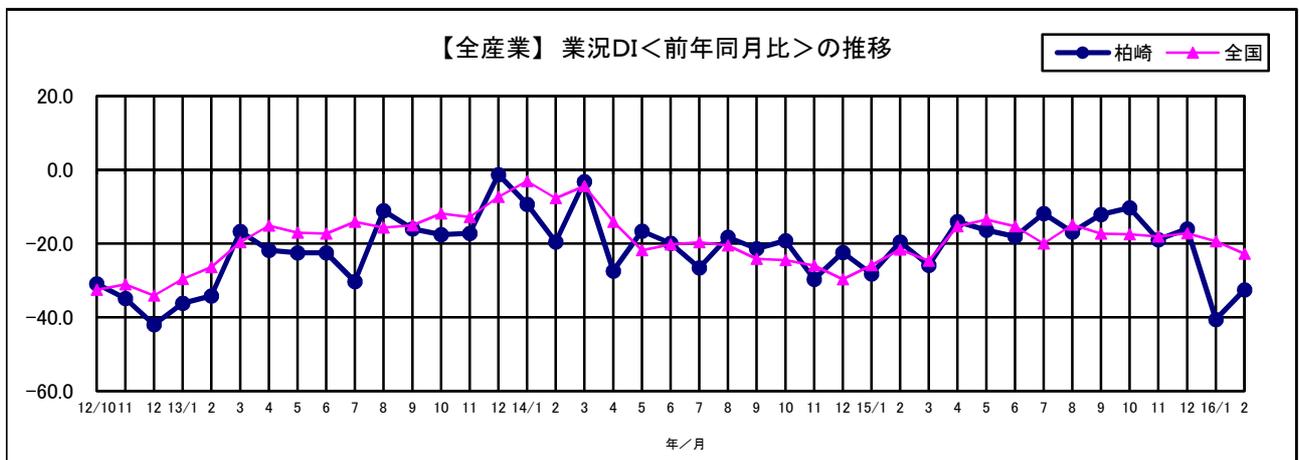
建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	41	50	25	32	37	185
回答数	34	37	16	18	31	136
回答率(%)	82.9%	74.0%	64.0%	56.3%	83.8%	73.5%

◆概況(全産業合計)

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月~5月
業況	柏崎	▲12.1	▲10.3	▲19.0	▲16.0	▲40.6	▲32.6	▲27.1
	全国	▲17.3	▲17.5	▲18.1	▲17.2	▲19.4	▲22.8	▲18.2
売上	柏崎	▲8.6	▲11.2	▲15.4	▲18.6	▲38.2	▲26.5	▲29.1
	全国	▲12.1	▲6.1	▲11.1	▲12.1	▲16.6	▲19.3	▲12.3
採算	柏崎	▲16.2	▲16.9	▲17.6	▲20.4	▲36.2	▲32.7	▲26.1
	全国	▲17.3	▲14.8	▲16.3	▲16.8	▲17.5	▲22.3	▲15.5
資金繰り	柏崎	▲9.3	▲6.8	▲11.9	▲13.4	▲20.3	▲19.4	▲16.7
	全国	▲12.8	▲11.3	▲10.4	▲10.4	▲10.3	▲12.8	▲11.5
仕入単価	柏崎	▲29.5	▲25.1	▲21.2	▲27.2	▲22.0	▲22.0	▲21.7
	全国	▲39.5	▲36.4	▲32.4	▲31.5	▲24.3	▲24.9	▲23.3
従業員	柏崎	22.8	18.2	15.6	15.7	11.4	12.7	19.2
	全国							14.3
資金借入難易感	柏崎	8.0	3.1	4.0	2.5	4.9	2.6	▲0.1



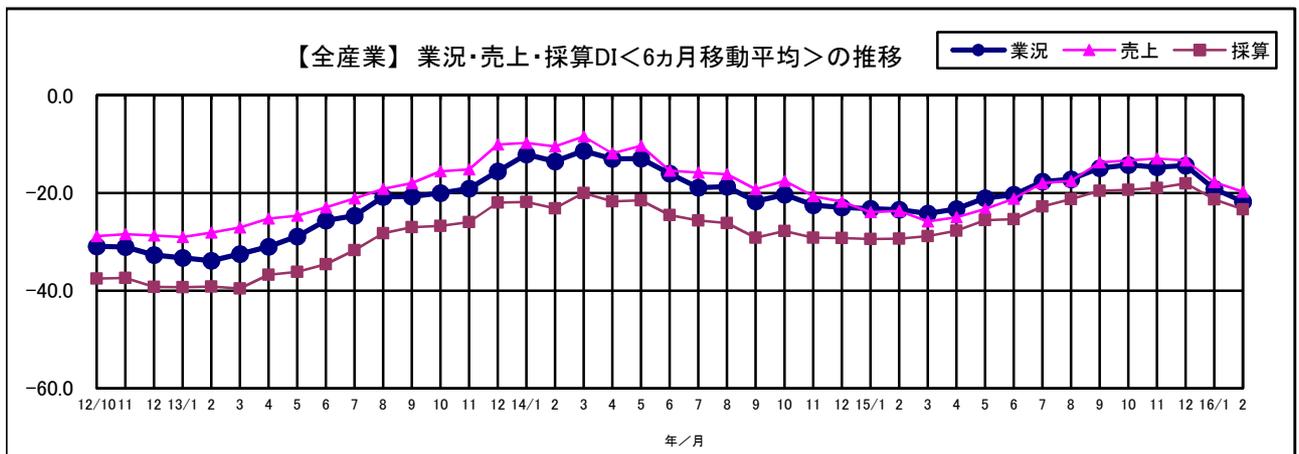
柏崎地域全体の業況DI(前年同月比=2月期)は▲32.6となり、前月から8.0ポイント改善した。売上・採算DIもマイナス幅が縮小したが、資金繰り・仕入単価DIは横ばいであった。

向こう3か月の先行き見通しについては、業況・採算・資金繰りDIはマイナス幅が縮小しているが、売上DIはマイナス幅が若干拡大、仕入単価DIは横ばいとなっている。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

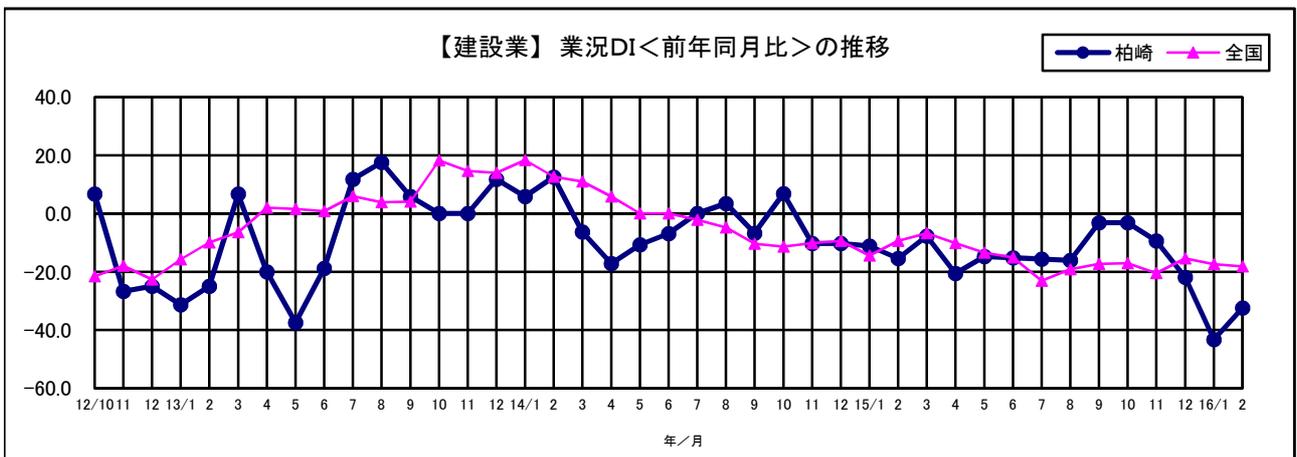
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

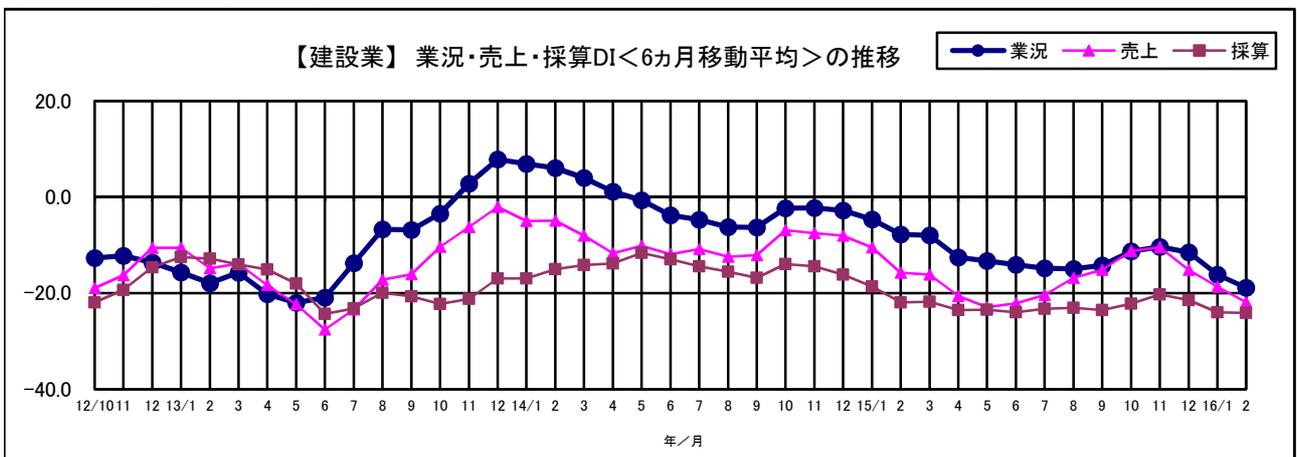
【建設業】

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 9.4	▲ 21.9	▲ 43.3	▲ 32.4	▲ 44.1
	全国	▲ 17.3	▲ 17.1	▲ 20.4	▲ 15.4	▲ 17.4	▲ 18.2	▲ 16.1
売上	柏崎	▲ 9.4	0.0	▲ 15.6	▲ 37.5	▲ 36.7	▲ 32.4	▲ 55.9
	全国	▲ 16.4	▲ 10.9	▲ 16.5	▲ 11.8	▲ 16.6	▲ 23.2	▲ 12.4
採算	柏崎	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 34.4	▲ 40.0	▲ 26.5	▲ 47.1
	全国	▲ 14.7	▲ 15.7	▲ 17.8	▲ 15.3	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 16.1
資金繰り	柏崎	▲ 6.3	▲ 3.1	▲ 6.3	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 11.8	▲ 20.6
	全国	▲ 9.1	▲ 6.6	▲ 6.1	▲ 6.8	▲ 5.2	▲ 7.7	▲ 8.7
仕入単価	柏崎	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 26.7	▲ 26.5	▲ 29.4
	全国	▲ 42.0	▲ 38.2	▲ 34.5	▲ 33.6	▲ 25.0	▲ 23.3	▲ 24.0
従業員	柏崎	21.9	28.1	25.0	12.5	0.0	5.9	8.8
	全国							13.7
資金借入難易感	柏崎	9.4	6.3	6.3	0.0	6.7	0.0	▲ 5.9



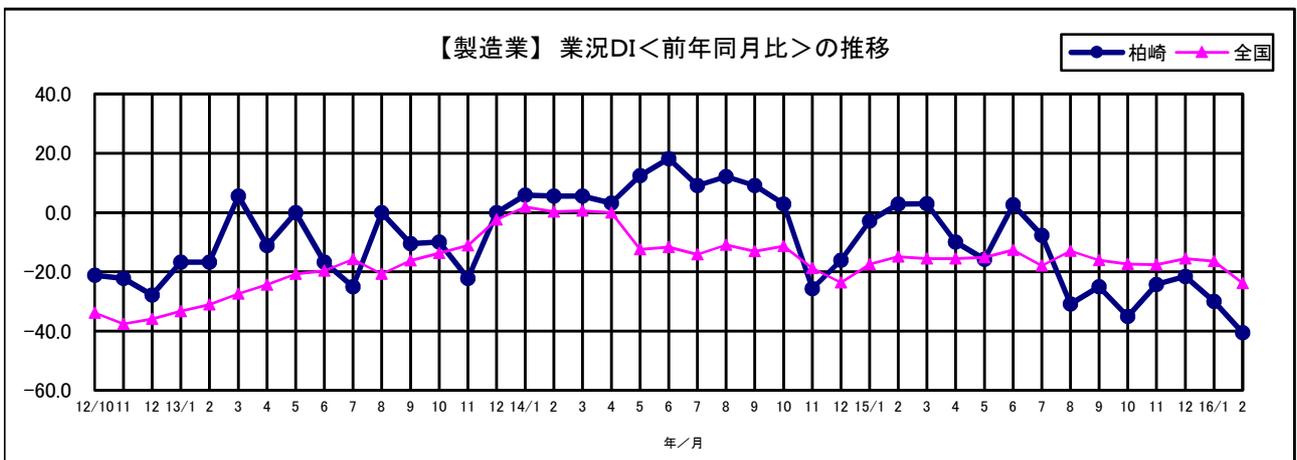
業況DIは▲32.4となり、前月から10.9ポイント改善した。売上・採算DIもマイナス幅が縮小しているものの、調査対象の総合工事・設備工事・職別工事業の回答は一部を除いて殆どが「不変」または「悪化」であった。先行き見通しについては、どの業態とも「悪化」が2月期より多くなっており、厳しい様子が窺える。

【移動平均分析(建設業)】



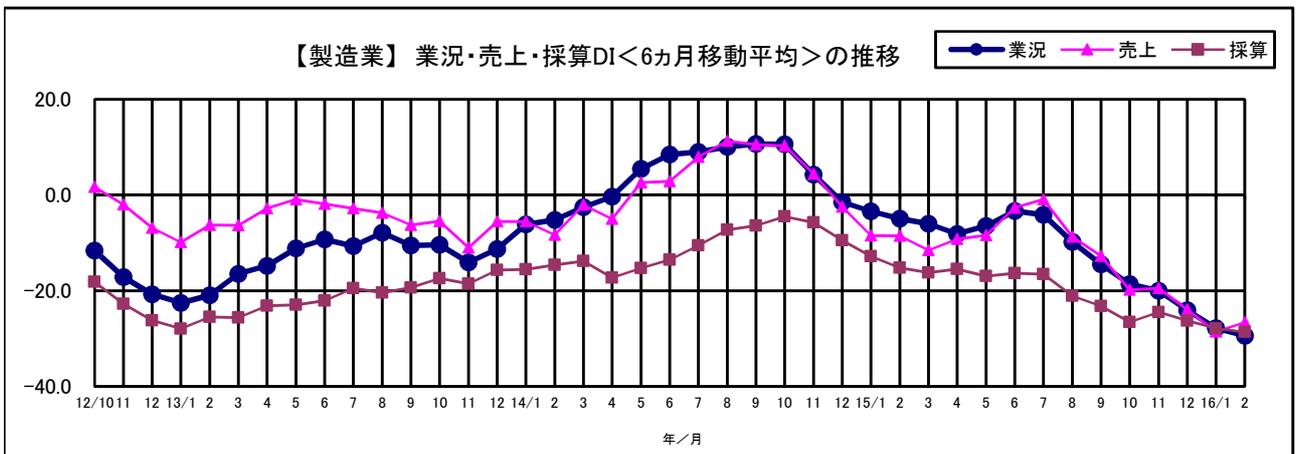
【製造業】

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 24.3	▲ 21.6	▲ 30.0	▲ 40.5	▲ 13.5
	全国	▲ 16.1	▲ 17.4	▲ 17.6	▲ 15.5	▲ 16.4	▲ 23.8	▲ 13.7
売上	柏崎	▲ 30.0	▲ 42.5	▲ 16.2	▲ 21.6	▲ 22.5	▲ 27.0	▲ 5.4
	全国	▲ 12.6	▲ 5.7	▲ 12.3	▲ 10.6	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 7.7
採算	柏崎	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 43.2	▲ 16.2
	全国	▲ 18.4	▲ 15.7	▲ 17.0	▲ 16.0	▲ 15.4	▲ 25.2	▲ 11.5
資金繰り	柏崎	▲ 12.5	▲ 15.0	▲ 10.8	▲ 21.6	▲ 17.5	▲ 13.5	▲ 13.5
	全国	▲ 15.1	▲ 8.8	▲ 11.7	▲ 9.0	▲ 10.3	▲ 12.5	▲ 8.8
仕入単価	柏崎	▲ 27.5	▲ 15.0	▲ 10.8	▲ 10.8	▲ 15.0	▲ 5.4	0.0
	全国	▲ 33.6	▲ 29.0	▲ 26.1	▲ 23.4	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 14.5
従業員	柏崎	15.0	7.5	2.7	10.8	2.5	16.2	18.9
	全国							7.7
資金借入難易感	柏崎	10.0	10.0	16.2	8.1	12.5	18.9	10.8



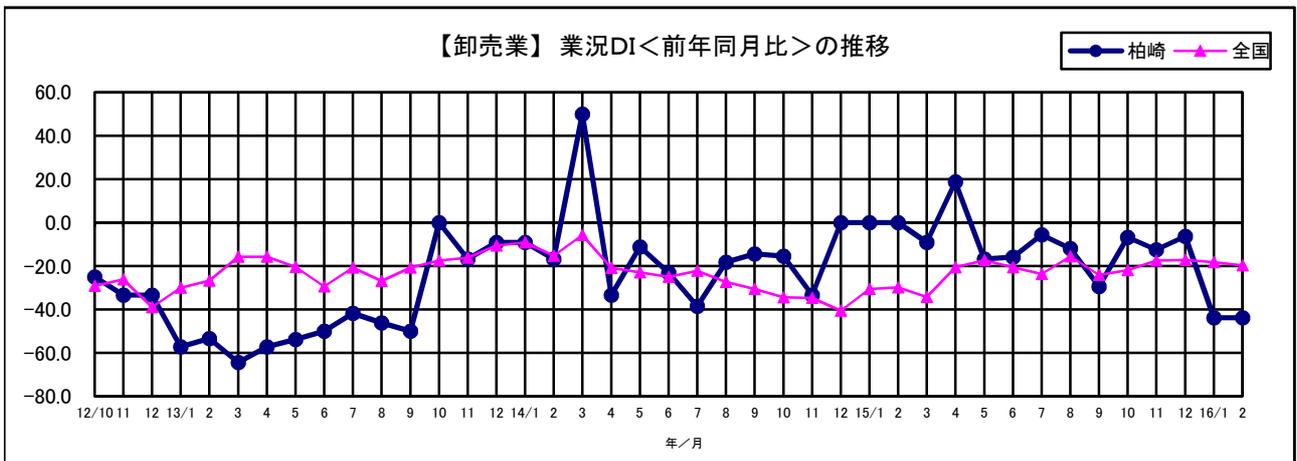
業況DIは▲40.5となり、10.5ポイント悪化した。調査対象の機械金属関連製造業およびその他の製造業とも「不変」または「悪化」の回答が多数を占めており、売上・採算DIもマイナス幅が拡大した。先行き見通しについては、製造業は他業種に比べて「好転」の回答比率が高くなっている。

【移動平均分析(製造業)】



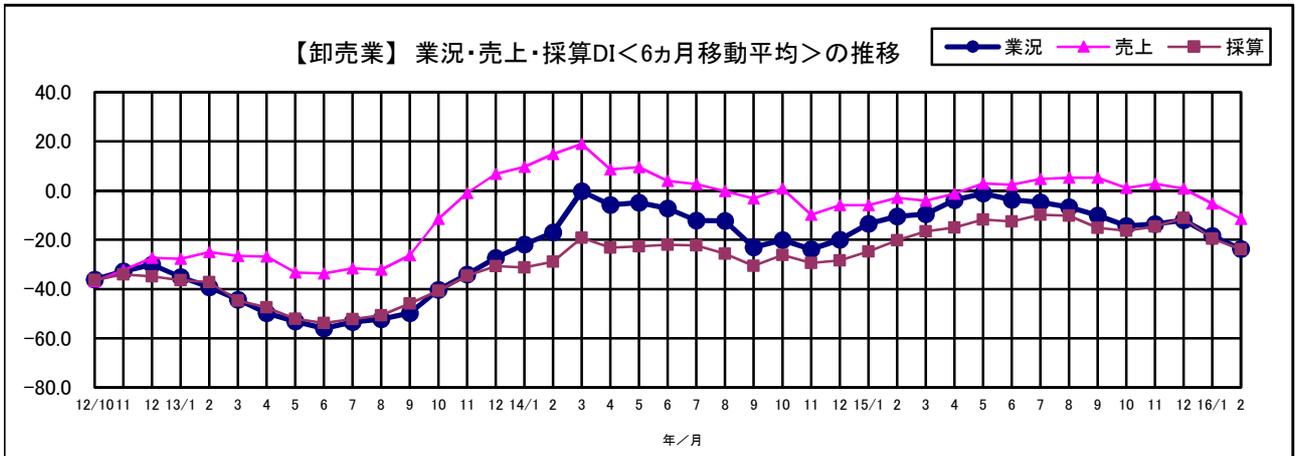
【卸売業】

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 29.4	▲ 6.7	▲ 12.5	▲ 6.3	▲ 43.8	▲ 43.8	▲ 43.8
	全国	▲ 24.0	▲ 21.8	▲ 17.4	▲ 17.2	▲ 18.2	▲ 19.7	▲ 16.0
売上	柏崎	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 6.3	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 43.8
	全国	▲ 9.9	▲ 10.9	▲ 4.7	▲ 7.2	▲ 21.5	▲ 13.9	▲ 7.6
採算	柏崎	▲ 29.4	▲ 13.3	▲ 12.5	0.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 31.3
	全国	▲ 10.7	▲ 13.9	▲ 8.1	▲ 11.2	▲ 14.7	▲ 14.1	▲ 9.6
資金繰り	柏崎	0.0	6.7	0.0	12.5	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 18.8
	全国	▲ 9.3	▲ 9.7	▲ 7.4	▲ 3.9	▲ 8.2	▲ 5.2	▲ 8.3
仕入単価	柏崎	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 31.3	▲ 6.3	▲ 12.5	12.5
	全国	▲ 47.3	▲ 35.4	▲ 28.9	▲ 30.5	▲ 29.7	▲ 24.7	▲ 19.7
従業員	柏崎	23.5	20.0	18.8	18.8	18.8	18.8	12.5
	全国							6.4
資金借入難易感	柏崎	17.6	26.7	18.8	25.0	25.0	18.8	12.5



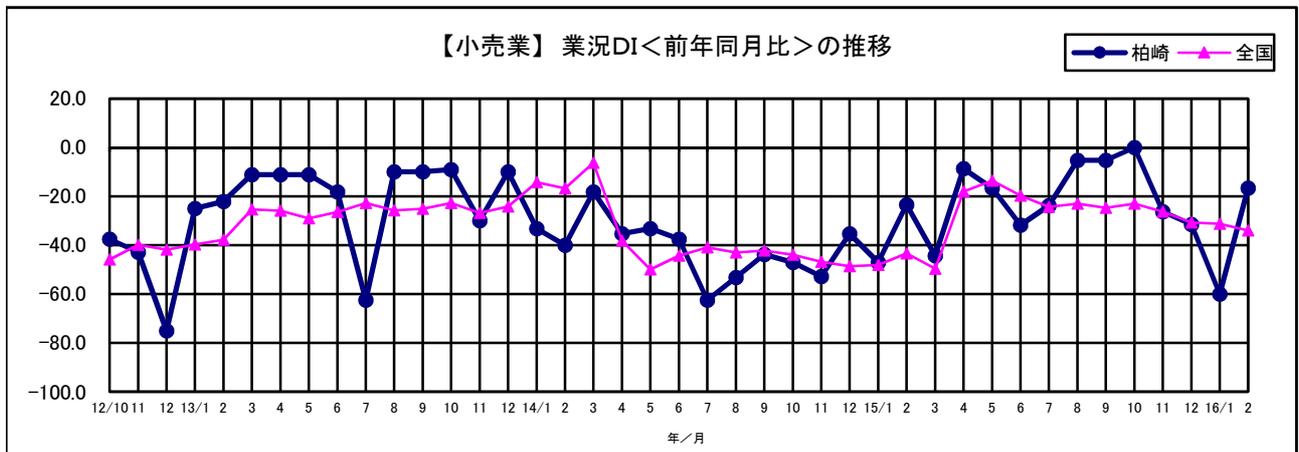
業況DIは▲43.8となり、横ばいであった。業態別にみると食品・衣類関連卸売業は、「好転」と「悪化」が同数であったが、建材・鉱物関連卸売業は「好転」が全くみられず、様相が異なっている。先行き見通しについては、どちらの業態も「不変」または「悪化」の回答が殆どであり、厳しい様子が窺える。

【移動平均分析(卸売業)】



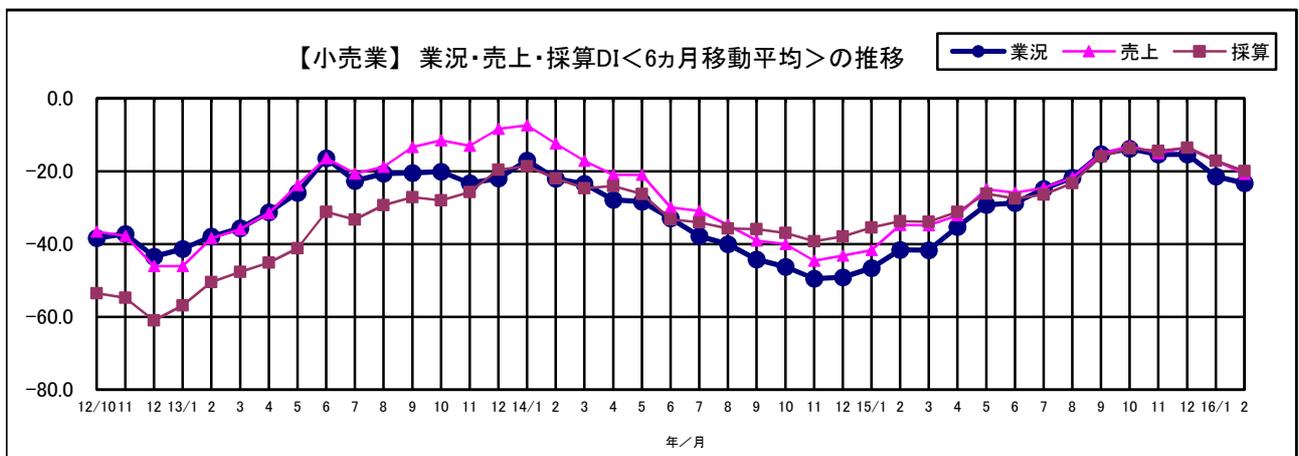
【小売業】

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 5.3	0.0	▲ 26.3	▲ 31.6	▲ 60.0	▲ 16.7	▲ 27.8
	全国	▲ 24.8	▲ 23.1	▲ 26.3	▲ 30.8	▲ 31.3	▲ 34.0	▲ 32.2
売上	柏崎	▲ 5.3	0.0	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 55.0	▲ 16.7	▲ 33.3
	全国	▲ 19.2	▲ 7.0	▲ 19.6	▲ 27.4	▲ 25.8	▲ 24.1	▲ 24.4
採算	柏崎	5.3	0.0	▲ 21.1	▲ 26.3	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 33.3
	全国	▲ 23.6	▲ 19.5	▲ 22.5	▲ 26.3	▲ 29.9	▲ 30.0	▲ 26.3
資金繰り	柏崎	▲ 5.3	0.0	▲ 21.1	▲ 15.8	▲ 40.0	▲ 27.8	▲ 22.2
	全国	▲ 16.8	▲ 18.8	▲ 15.4	▲ 17.5	▲ 18.8	▲ 22.2	▲ 19.8
仕入単価	柏崎	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 15.8	▲ 42.1	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.9
	全国	▲ 43.5	▲ 44.3	▲ 39.6	▲ 37.6	▲ 32.1	▲ 34.9	▲ 32.7
従業員	柏崎	15.8	10.5	0.0	15.8	5.0	5.6	16.7
	全国							19.9
資金借入難易感	柏崎	5.3	▲ 10.5	0.0	5.3	5.0	0.0	0.0



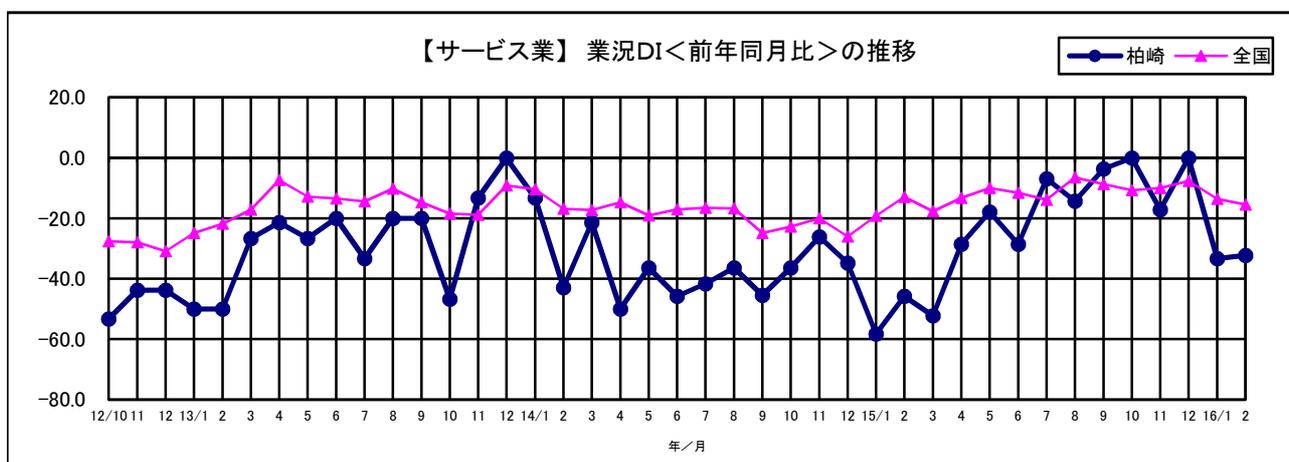
業況DIは▲16.7となり、前月から大きく改善した。同様に売上・採算DIもマイナス幅が大きく縮小した。先行き見通しについては、食品小売業およびその他の小売業とも「好転」の回答はみられるもののそれ以上に「悪化」が多く、企業間の格差が感じられる。

【移動平均分析(小売業)】



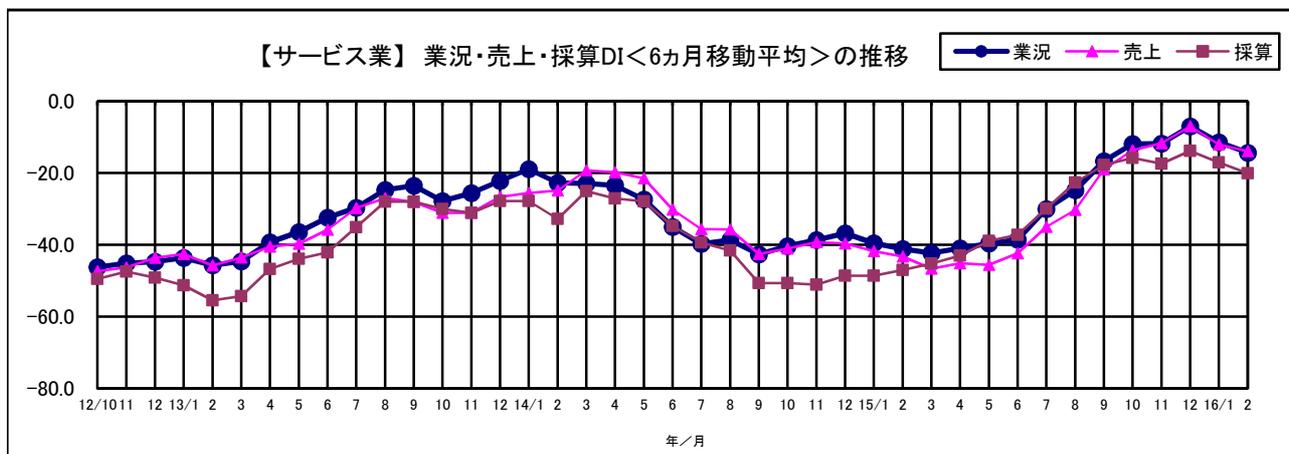
【サービス業】

項目		15年9月	15年10月	15年11月	15年12月	16年1月	16年2月	先行き見通し 3月～5月
業況	柏崎	▲ 3.6	0.0	▲ 17.2	0.0	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 22.6
	全国	▲ 8.7	▲ 10.7	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 13.6	▲ 15.5	▲ 12.3
売上	柏崎	7.1	0.0	▲ 17.2	0.0	▲ 44.4	▲ 29.0	▲ 25.8
	全国	▲ 2.9	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 1.8	▲ 7.8	▲ 14.2	▲ 8.0
採算	柏崎	▲ 14.3	▲ 20.0	▲ 20.7	▲ 6.9	▲ 29.6	▲ 29.0	▲ 16.1
	全国	▲ 14.8	▲ 9.3	▲ 12.3	▲ 12.5	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 12.0
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 13.8	▲ 13.8	▲ 14.8	▲ 25.8	▲ 12.9
	全国	▲ 10.8	▲ 10.6	▲ 8.6	▲ 11.0	▲ 7.0	▲ 10.9	▲ 10.2
仕入単価	柏崎	▲ 39.3	▲ 26.7	▲ 27.6	▲ 31.0	▲ 25.9	▲ 29.0	▲ 35.5
	全国	▲ 37.0	▲ 35.9	▲ 32.7	▲ 33.8	▲ 22.8	▲ 24.2	▲ 25.5
従業員	柏崎	35.7	26.7	31.0	20.7	29.6	16.1	29.0
	全国							20.4
資金借入難易感	柏崎	3.6	▲ 3.3	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 11.1	▲ 12.9	▲ 9.7



業況DIは▲32.3となり、ほぼ横ばいであった。業態別にみると観光サービス業は季節的な要因もあつてか、2月期は「悪化」の回答が多数を占めたが、先行き見通しについては、「好転」が「悪化」を上回っている。

【移動平均分析(サービス業)】



◆2月調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<製造業>

- ・円安・ドル高の傾向が仕入面(輸入)に表れている。(機械・金属製造業)
- ・自動車部品は比較的安定しているものの、全体としてじりじりと業況が悪化している実感がある。(機械・金属製造業)
- ・原油安の影響が想像以上に大きい。(機械・金属製造業)
- ・社内業務見直しによる改革を進めている。(一般製造業)

<卸売業>

- ・2月は真鯛の漁獲に恵まれ、昨年比105%の水揚げとなった。(食料品卸売業)

<小売業>

- ・卸売部門を縮小したことで全体の売上は下がったが、利益率は昨年比で約8%上昇、金額的には大きな差はなかった。小売部門、プライベートブランド(PB)部門とも昨年を大きく上回り、PBは県外からの受注が多く過去最高の売上を上げることができた。小売部門は柏崎市内の動きは鈍いが、(2月は)新潟市、県央地区、長岡地区が好調で、今後はそちらに目を向けた対応をしていかなければ厳しいと考えられる。(一般小売業)

<サービス業>

- ・宴会需要が大きく落ち込み、営業日数が前年より一日多いのに売上は90%であった。入館者数も93.6%と前年を下回った。はなまるクーポンも前年比84.6%と大きく減少した。(一般サービス業)
- ・2月の宿泊は過去に類を見ないくらい悪かった。その原因として思い当たるものがないので、今後いかにして改善していくかが課題である。(観光サービス業)

◆参考;日商調査に寄せられたコメント

<建設業>

「人件費の上昇が続くものの、受注確保のためには施工単価を据え置かざるを得ない」(一般工事業)、「燃料費や資材価格の下落の恩恵はあるが、公共工事・民間工事ともに動きが乏しく、売上は伸び悩んでいる」(土木工事業)、「年度末にかけて受注が増加し、業績も上向いている。他方で、短納期の案件が多く、人手が足りていない」(建築工事業)

<製造業>

「消費の二極化に対応するため、低価格帯と高価格帯双方の商品をバランスよく投入したことで、売上は堅調に推移している」(衣料品製造業)、「新興国向けの受注低迷が続く。また、為替相場が不安定であり、今後の業績への影響が心配」(産業用機械製造業)、「取引先である自動車メーカーの工場稼働停止に伴い、自社の受注も減少した」(自動車部品製造業)

<卸売業>

「収益確保のため、コスト増加分を価格転嫁したところ、一部の取引先がより安価な同業他社に流れ、売上は伸び悩んだ」(建築資材卸売業)、「利幅の大きいプライベートブランド商品の営業を強化したことが奏功し、採算が好転している」(食料品卸売業)、「製造業からの引き合いが鈍く、在庫が積み上がっている」(衛生管理)

<小売業>

「バレンタイン商戦が好調。特に、海外有名ブランドや限定品など、高付加価値商品に人気が集まった」(百貨店)、「必要なものしか買わない消費者が一段と増えており、値下げをしても売れ残る商品が多くみられる」(総合スーパー)、「春節に伴い、中国などからの外国人観光客は増えているが、買い物よりも温泉や城郭など観光の人気が高く、売上面での恩恵は少ない」(商店街)

<サービス業>

「青果物や冷凍食品の荷動きは活発なもの、鋼材やアルミなど製造業向けの受注が低調」(運送業)、「電力料金は昨年度比で約8割と抑制できているが、生鮮を含む食料品の仕入コスト増大の影響が大きく、収益確保が難しい」(飲食店)、「人材確保のため、時給を引き上げて採用募集をしているが、応募が少ない。また、採用できても収益の圧迫要因となっており、業況は厳しい」(人材派遣業)